

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【公表番号】特表2008-537727(P2008-537727A)

【公表日】平成20年9月25日(2008.9.25)

【年通号数】公開・登録公報2008-038

【出願番号】特願2007-554182(P2007-554182)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月30日(2009.1.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

線維性障害を患う被験体において、線維化を減少させるかまたは防止するための薬剤組成物であって、薬学的に許容しうるキャリアーと混合された、療法的有効量の胸腺間質リンホポエチン・アンタゴニストを含む、前記薬剤組成物。

【請求項 2】

アンタゴニストが胸腺間質リンホポエチン結合剤である、請求項 1 に記載の薬剤組成物。

【請求項 3】

剤が、アンタゴニスト性抗体、ペプチドまたはポリペプチド結合剤、可溶性胸腺間質リンホポエチン受容体、可溶性 IL-7 受容体 α / 胸腺間質リンホポエチン・ヘテロ二量体受容体、および小分子アンタゴニストからなる群より選択され、胸腺間質リンホポエチンに結合する、請求項 2 に記載の薬剤組成物。

【請求項 4】

アンタゴニスト抗体が、ヒト抗体、ヒト化抗体、一本鎖抗体、または抗体断片からなる群より選択される、請求項 3 に記載の薬剤組成物。

【請求項 5】

ペプチドまたはポリペプチド結合剤、可溶性受容体または可溶性ヘテロ二量体受容体が

、F cドメインをさらに含む、請求項3に記載の薬剤組成物。

【請求項6】

可溶性受容体がF cドメインをさらに含む、請求項3に記載の薬剤組成物。

【請求項7】

アンタゴニストが胸腺間質リンホポエチン受容体アンタゴニストである、請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項8】

アンタゴニストが、アンタゴニスト性抗体、可溶性リガンド、および小分子からなる群より選択され、胸腺間質リンホポエチン受容体に結合する、請求項7に記載の薬剤組成物。

【請求項9】

アンタゴニスト性抗体が、ヒト抗体、ヒト化抗体、一本鎖抗体、または抗体断片からなる群より選択される、請求項8に記載の薬剤組成物。

【請求項10】

可溶性リガンドがF cドメインをさらに含む、請求項8に記載の薬剤組成物。

【請求項11】

アンタゴニストが、アンタゴニスト性抗体、可溶性リガンド、および小分子からなる群より選択され、IL-7受容体 α /胸腺間質リンホポエチン受容体ヘテロ二量体に結合する、請求項7に記載の薬剤組成物。

【請求項12】

アンタゴニスト性抗体が、ヒト抗体、ヒト化抗体、一本鎖抗体、または抗体断片からなる群より選択される、請求項11に記載の薬剤の組成物。

【請求項13】

可溶性リガンドがF cドメインをさらに含む、請求項11に記載の薬剤組成物。

【請求項14】

線維性障害が、強皮症、間質性肺疾患、特発性肺線維症、慢性B型またはC型肝炎感染から生じる肝線維症、放射線誘導性線維症、および創傷治癒から生じる線維症からなる群より選択される、請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項15】

線維化促進性サイトカインに対する第二のアンタゴニストをさらに含み、該サイトカインが、トランスフォーミング増殖因子 β (TGF- β)、インターロイキン-4 (IL-4)、インターロイキン-5 (IL-5)、インターロイキン-9 (IL-9)、インターロイキン-13 (IL-13)、顆粒球/マクロファージコロニー刺激因子 (GM-CSF)、腫瘍壊死因子アルファ (TNF- α)、インターロイキン-1ベータ (IL-1 β)、結合組織増殖因子 (CTGF)、インターロイキン-6 (IL-6)、オンコスタチンM (OSM)、血小板由来増殖因子 (PDGF)、単球走化性タンパク質1 (CCL2/MCP-1)、ならびに肺および活性化制御ケモカイン (CCL18/PARC)より選択される、請求項1に記載の薬剤組成物。